

## センターの動向 (2011年4月～9月)

●**2011年4月22日** 第6回わく・湧く・ワークショップ「イメージワークとメディテーションのタベ」(於:京都大学稲盛財団記念館3階小会議室2)。

●**4月27日** 「東日本大震災とこころの未来」サイト開設。

●**5月16日** 第1回こころ観研究会・ワザ学研究会合同研究会(於:京都大学稲盛財団記念館3階小会議室2)。話題提供:井上ウィマラ先生(高野山大学准教授)「テラワダ仏教におけるこころ観とこころを抑制するワザについて」、熊谷誠慈先生(京都大学白眉プロジェクト助教)「チベット仏教におけるこころ観とこころを抑制するワザについて」、指定討論者:魚川祐司先生(ミャンマー・テラワダ仏教僧侶)。

●**5月18日** 第15回注意研究会(於:京都大学吉田南総合館1階101演習室)。話題提供:Professor Alan C. Kamil, Department of Psychology, University of Nebraska-Lincoln, USA(京都大学大学院文学研究科 Visiting Professor)。

●**5月31日** 映画「扉のむこう」の上映会ならびに「ひきこもり」に関するパネルディスカッション(於:京都大学稲盛財団記念館3階大会議室)。パネリスト:ローレンス・スラッシュ先生(本編映画監督)、ピナイ・ノラサクンキット先生(ミネソタ州立大学・文化心理学)、トゥーッカ・トイボネン先生(オックスフォード大学・社会学)、境泉洋先生(徳島大学・臨床心理学)。進行:内田由紀子准教授。

●**6月21日** 連携研究プロジェクト「東日本大震災関連プロジェクト」立ち上げ。

●**6月28日** 「文化・自己・対人関係のワークショップーWorkshop on Culture, Self, and Social Relationshipsー」(於:京都大学稲盛財団記念館3階大会議室)。講演者:Steven J. Heine先生(ブリティッシュ・コロンビア大学)、演題:“Positive Self-Views, East and West”、講演者:Vinai Norasakkunkit先生(ミネソタ州立大学・京都大学こころの未来研究センター外国人特別研究員)、演題:“Unpackaging Cultural Differences in

Social Anxiety: The Role of Self-Constraint, Self-Enhancement, and Holistic Cognition”、講演者:竹村幸祐研究員、演題:“Being Different Leads to Being Connected: On the Adaptive Function of Uniqueness in ‘Open’ Societies”、講演者: Beth Morling先生(デラウェア大学・京都大学こころの未来研究センターフルブライト研究員)、演題:“How Does Social Support Feel? It Depends on Who You Ask”。指定討論:内田由紀子准教授。

●**7月1日** 京都大学附置研究所・センター主催の第14回品川セミナー(於:京都大学東京オフィス)で吉川センター長が講演。タイトル:「ゆっくり話を聴く」ということ:臨床対話の認知科学。

●**7月5日～13日** 吉川センター長が京大ブータン友好プログラム第5次訪問団の団長としてブータン王国に出張。

●**7月20日** 第7回わく・湧く・ワークショップ「イメージワークとメディテーションのタベ」(於:京都大学稲盛財団記念館3階小会議室1)。

●**7月20日** 「京都大学シンポジウムシリーズIV: 宗教と災害～東日本大震災の現場からの報告と討議」(於:京都大学稲盛財団記念館3階大会議室)。第1部 基調報告:島菌進先生(東京大学教授)「『宗教者災害支援連絡会・情報交換会』の活動と課題」、玄侑宗久先生(福島県三春僧侶・作家)「福島県での被災状況と被災地支援の現状および復興構想会議の問題点」。事例報告:稲葉圭信先生(大阪大学准教授)「『宗教者災害救援ネットワーク』の活動と課題」、金子昭先生(天理大学教授)「新宗教の災害支援活動の事例と課題」。第2部 指定討論者:河合俊雄教授、内田由紀子准教授。

●**7月26日** 第34回こころの未来セミナー(於:京都大学稲盛財団記念館3階大会議室)。講師:Darcy Harris先生(ウェスタン・オンタリオ大学キングスカレッジ「死の研究」プログラム教授、看護師・臨床心理士〈死別カウンセリング〉)、タイトル:悲嘆へのさまざまな道のり。

●**7月28日** 第2回こころ観研究会・ワザ学研究会・負の感情研究会合同研究会(於:京都大学東南アジア研究所東棟1階会議室107)。話題提供:濱野清志先生(京都文教大学教授)、永澤哲先生(京都文教大学准教授)、井上ウィマラ先生(高野山大学准教授)、熊谷誠慈先生(京都大学白眉プロジェクト助教)。

●**8月20日** 「こころの未来研究センター 夏の研究ワークショップ」(於:京都大学稲盛財団記念館3階大会議室)。発表者:上田祥行研究員「快刺激がヒトの視覚的注意に関わる処理に及ぼす影響」、山本哲也研究員「レチノトピーに基づいた高次視覚野の同定:大きな受容野サイズにどう立ち向かうのか?」、長岡千賀研究員「カウンセリング対話における発話理解の認知的枠組み」、竹村幸祐研究員「社会生態学的環境に依存する個人主義的傾向の社会的適応価:関係流動性と独自性欲求のケース」、内田由紀子准教授「文化の中心と周辺:対人関係の視点から」、森崎礼子助教「コミュニケーションの比較認知・障害児発達研究」、平石界助教「社会性の進化と行動遺伝学:双生児による公共財ゲーム実験から」。コメントーター:カリフォルニア工科大学下條信輔教授。

●**8月21日** 第10回こころの広場「進化とこころ～『こころ』も進化した?」(於:京都大学百周年時計台記念館2階国際交流ホール1・II)。第1部「ヒトの進化:遺伝子、からだ、こころ」、講師:長谷川真理子先生(総合研究大学院大学先導科学研究科教授・人間行動進化学)。第2部「知覚と進化～世界はなぜこのように立ち現れるのか?」、講師:下條信輔先生(カリフォルニア工科大学生物学部教授・認知神経科学・知覚心理学)。第3部 座談・質疑応答「進化とこころ」。司会進行:平石界助教。

●**9月7日** 第8回わく・湧く・ワークショップ「イメージワークとメディテーションのタベ」(於:京都大学稲盛財団記念館3階小会議室1)。